

- P2 経営支援レポート
元気印 ズームアップ
- P4 要望活動
経営支援事例発表
- P5 青年部・女性部だより
- P6 Information 商工会だより
- P8 掲示板

ニュースクリップ News Clip

あ ぐ ひと しょう こう にん
商きない工らす人びと ふくしま商・工・人

2020.10.1
Vol. 390



P2に掲載

食を通して地域に貢献

伊達市 保原町・TRATTORIA La Wasabi



P3に掲載

最近お客様から
「オムライスはこの以外は食べない。
そのくらい美味しい。」と言われました。

耶麻郡 西会津町・洋食堂K

元気印

経営支援レポート

ズーム

アツアツ

県内2地域の商工会からがんばっている会員企業をご紹介します。みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せください。(f-wing@do-fukushima.or.jp)



会津

西会津町商工会

最近お客様から「オムライスはこの以外は食べない。そのくらい美味しい。」と言われました。



洋食堂K

代表 佐藤 広大氏

住所 〒969-4406 耶麻郡西会津町野沢字原町乙2147 (ふるさと自慢館併設)

連絡先 TEL 0241-45-2224 営業時間 11:00~14:00 ランチ(木曜日はランチお休み) 18:00~21:00 ディナー

定休日 火曜日 U R L https://aizu.mypl.net/shop/00000348109/

【事業所紹介】

西会津町にある2016年4月創業のレストランです。西会津の郷土資料館「ふるさと自慢館」に併設されています。「洋食を肩肘張らないスタイルで楽しんで頂く」を理念に、日々お客様においしい洋食を提供できるよう頑張っています。地産地消を推進しており、健康な土づくりにより栽培され野菜

本来の栄養素や甘さが味わえる「西会津ミネラル野菜」を利用した料理を提供しています。ランチは大人気のふわとろオムライス、



ハンバーグ、パスタ、ピザなど定番の洋食を中心に提供し、夜は洋風居酒屋スタイルで営業しており、ドリンクも常に70~80種ご用意しております。定期的にライブなども開催しており、料理と一緒に音楽も楽しんで頂けます。

【オーナーシェフより】

最近「新型コロナウイルスに負けない」を合言葉に、よりお客様の健康に気を遣ったメニューの開発や、テイクアウト、お弁当にも力を入れています。お家で当店の味が楽しめるかと好評をいただいております。このような状況ですが、自分たちにできることを考え、真摯に取り組んでいます。最近お客様から「オムライスはこの以外は食べない。そのくらい美味しい。」と言われました。これを読んだ皆様にもぜひ一度食べて頂きたいです。また、改良に改良を重ねたローストビーフ丼もおススメです。新型コロナが落ち着いた頃にお会いしましょう。

【商工会の支援内容】

創業当時から現在まで伴走型の支援を行っています。創業計画と一緒に作成し、創業後は各種補助金やキャンペーン等の情報提供などの基本的な支援、日々の記帳から決算・確定申告などの税務支援を中心に、持続化補助金申請支援も行い、真空包装機の導入を通して、新たな調理法の確立とメニューの改良、仕入在庫の適正化を実現しました。そして忘れていけないのはランチ・ディナーやテイクアウトを通じた「食べて支援」です。これが一番喜ばれている支援かもしれません…。

【今後の目標】

まずは、当店の料理を通してコロナに負けない健康な体作りに寄与していくこと。

コロナ問題が落ち着いた頃には更なる販路開拓、売上増加を目指し、当店の人気メニューの商品化とブランド化を目指していきます。そして、地域内外多くのお客様から愛されるお店になりたいです。



県北

保原町商工会

食を通して地域に貢献



TRATTORIA La Wasabi(有限会社 丑坂屋)

代表取締役 末永俊一朗氏

住所 〒960-0622 伊達市保原町字市柳1番の1 連絡先 TEL 024-575-5363 FAX 024-575-5378 営業時間 11:30~14:30 ランチ 17:30~21:00 ディナー(20:30オーダーストップ) 定休日 毎週水曜日・第2又は第3火曜日

【事業所紹介】



当店は伊達市保原町の駅から徒歩5分の所にあるイタリアンレストランです。近隣だけでなく県外からのお客様も多く、ランチ・ディナー共に女性客を中心とした幅広い年齢層から親しまれております。創業以来①素材の良さ:地物にこだわり、季節に応じた旬の野菜を探し、自ら農家の畑に出向いて新鮮な野菜を仕入れ、素材を活かした調理法で料理を提供する。②健康への配慮:人間の体は食べ物から作られるので、当店で提供する全ての食材に気を配り、素材を吟味し、栄養バランスを考慮したメニュー作りを実践。③本格的イタリア料理:店主であるオーナーシェフは、10数年間の調理経験の中でイタリア料理に開眼し、イタリアの郷土料理をこの土

地の食材で調理し安全な食事を提供。の3点を忠実に守り、何より美味しい食事を日々提供することに精進しています。中でも特に「季節のパスタ料理」「石窯焼きピッツァ」「デザート」は、コロナ禍で4月から開始したテイクアウトでもリクエストが多い人気のメニューとなっています。



【商工会の支援内容】

昨年までの商工会との関りは労働保険関係が主でしたが、今年の3月に業務改善助成金の活用相談をきっかけに色々な施策の提案を受けるようになりました。

その中でも小規模事業者のコロナ特別対応型・持続化補助金の申請では、テイクアウトに対応する為の設備導入や伊達市のコロナ対策支援金等の申請も手厚いサポートをいただきました。

そして更に県の「ふくしまプライド。」県産農林水産物販売力強化支援事業において、6次化商品開発に伴うパッケージ作成・販売促進活動の提案を受けて現在、地元農産物で作る自家製ピクルスやパテ、ドレッシング等の開発・製造を進めています。

このコロナ禍ではありますが、タイムリーな補助金をより効果的に活用することができ、背中を押していただいていると感じています。

【今後の目標】

2002年の開店当初からブレる事なく地域に根差した店づくりに向けて日々アップデートを重ねながら続けていくことです。具体的には地元の生産者さん達が丹精込めて生産した農産物をより良いコンディションで調理して、採れたて野菜や果物の美味しさを愉しんでいただき、伊達市農産物のPRの一助になれば幸いです。

かつて両親が営んでいた食堂「丑坂屋」は地元の皆様から愛され、老若男女問わず多くのお客様方で常に賑わい、活気がありました。その両親の背中を見て育った自分も「いつかは肩を並べたい…追いつき追い越したい」と、常に目標としています。

今後も食を通して地域の皆様方のお役に立てるよう、スタッフ一丸で努めてまいります。



青年部だより

～県青連新役員紹介～ 福島県商工会青年部連合会の第53回通常総会で就任されました新役員をご紹介します。

～橋本勝 県青連理事 矢吹町商工会青年部長～



今年度より第26期福島県青連にお世話になります日本三大開拓地である矢吹町商工会青年部の橋本勝です。家業は八百屋の三代目です。青年部活動を通して一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

「単会での活動」今年度はコロナの影響もあり例年行われているイベントは中止になりましたが例年であれば夏は真夏の夜の鼓動、夏祭り、青年部祭り、家族似顔絵展などの実施、各種経営セミナー開催、他団体との交流会など実施しております。

～月本覚 県青連理事 柳津町商工会青年部副部長～



今年度の県青連の通常総会で選任され理事になりました柳津町商工会青年部副部長の月本覚です。

柳津町は奥会津地域の玄関口に位置します。お越しの際は町の名産品でもあります「あわまんじゅう」や「会津柳津ソースカツ丼」を是非ご賞味ください。

今年は新型コロナウイルスの影響により活動期間が短くなってしまいましたが県青連の役員の方々や各単会の青年部員の人達と交流や素晴らしい経験をしていき今後の活動にいかしていきたいです。

福島県、会津、そして柳津町のために頑張っていきたいと思っております。



橋本商店
「地域に根づいたお店を目指し、旬の野菜や果物などを多く取りそろえています。」



月本旅館
「築150年の3階建の温泉旅館。只見川を眺めながら入れる温泉は源泉かけ流しの湯。柳津で唯一のうぐいす張りの旅館で、歴史を感じられます。」

女性部だより

～地域の魅力“いいところ”“いいもの”発信！～

福島県商工会女性部 おもてなし交流事業「おもてなしプラン」の紹介

地域の隠れた魅力“いいところ”や“いいもの”を取り入れた「おもてなしプラン」を紹介します。コロナウイルスが終息し、女性部の視察研修や親睦旅行を行う際には是非ご利用頂き、部員同士の交流を深めて下さい。

商工会名	プラン名称	受入可能期間
保原町商工会	豆で達者な保原町「豆っこ汁」と歴史を堪能しよう!	通年
滝根町商工会	滝根のいいところごとくよばりプラン	4月～11月(その他要相談)
久之浜町商工会	たしかなる風～ふるさと久之浜～ ～久之浜町商工会女性部によるおもてなし事業～	通年(要相談)
飯野町商工会	つるし雛で心を繋ぎ元気発信 ～飯野つるし雛まつり～	2月17日～3月4日頃 1週間に2組限定(曜日等は要相談)
北塩原村商工会	自然が創り出した景勝地の魅力に触れてみませんか	通年
川内村商工会	震災からの7年あの日と今を語り語りツアー	4～11月(受入日要相談)
中田町商工会	◆江戸時代から続く伝統事業見学体験◆	4～10月
下郷町商工会	歴史と自然があふれる町を散策してみませんか	通年(土日祝除く)
きたかた商工会	ようこそ!きたかた花めぐりへ	3月下旬、4月中旬、6月上・中旬
只見町商工会	遊びに来てけやれ!ユネスコエコパーク登録の町・只見 四季折々の自然・歴史・民芸・物産品いろんなものに触れてください	通年
長沼商工会	藍の生葉染めで一期一会の体験してみませんか	8月～9月(藍の育成状況によります)
川俣町商工会	国内最大のfolklore・フェスティバルに参加してみませんか	10月12日・13日頃
小野町商工会	高柴山登山(トレッキング)ー山ツツジの大群落を訪ねるー	5月中旬～下旬(開花状況による)
伊達市商工会	梁川の歴史をめぐる探訪ツアー 霊峰 霊山秋の紅葉散策ツアー	梁川コース・通年 霊山コース・紅葉シーズン
三和町商工会	吊るし雛見学と山間部特産を体験!	2月中旬～下旬の土日
会津坂下町商工会	一度は来らんしょ 会津ばんげ町 しあわせつなぐおもてなし	6～10月(要相談)

中小・小規模事業者支援に対する 国および県への要望活動

去る七月十三日、巒田倉治県連会長は、第一期復興・創生期間における復興経営指導員等の拡充配置等、中小・小規模事業者に対する支援の拡充強化について、経済産業大臣、復興大臣等へ要望書を提出しました。

要望書では、以下の二項目について支援・拡充強化を求めました。

- 被災中小企業・小規模事業者に対する支援の強化
- 被災事業者や被災地域の早期復興支援の強化
- 復興を支援する商工会等への支援の継続・強化
- 中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化
- 伴走型で小規模事業者を支援する人員の増員
- 職員の資質向上のための手当の創設
- 小規模事業者の負担軽減のための補助率の見直し
- 申請手続きの簡素化等
- 事業承継・創業の推進
- 伴走型の販路開拓支援の拡充
- 農工商連携・海外展開・インバウンド対策等の推進
- 企業の地方分散化とテレワークの推進



要望書(手交)【吉野 衆議院議員】



要望書(手交)【上杉 衆議院議員】



要望書(手交)【宮本 経産政務官】



要望書(手交)【菅家 復興副大臣】

去る九月一日、福島県商工会連合会(巒田倉治 会長、渡部文一 副会長、渡邊武 副会長、佐藤美 副会長、高橋 健 副会長、澤田天 副会長)は、商工会の経営支援体制の機能強化等中小・小規模事業者に対する支援の拡充強化について、宮村安治 福島県商工会労働部長へ要望書を提出しました。

要望書では、以下の三項目について支援・拡充強化を求めました。

- 中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化
- 自然災害など外部環境の影響に対応した各種支援施策の継続と充実強化
- 経営資源の確保が困難である小規模事業者の持続的な発展のための新たな支援事業の拡充強化
- 円滑な事業承継や創業・起業に対する支援の強化
- 商工会による経営支援体制の機能強化
- 商工会の支援人員拡充と事務局長設置要件の緩和
- 商工会IT化整備事業費の創設
- 商工会館の防災強化及び修繕費用補助の創設
- 国への復興事業継続の後押しと避難地域商工会への支援の強化
- ウイズコロナ時代における新たな経営展開への支援強化
- ECサイトへの出店やホームページを使ったネット販売システム構築等のための経費及びIT関連機器導入補助制度の創設
- ウイズコロナ経営のため、いきいき補助金制度等の拡充強化
- 全県における高速通信網やフリーWiFiスポットの整備
- テレワーク企業や移住者の誘致PRやマッチングの推進



要望書(手交)【宮村 商工会労働部長】

令和二年度 経営支援事例発表福島県大会の開催

去る八月四日、職員の持つ経営支援ノウハウ・経験の共有化、経営指導員等のモチベーション向上、商工会による事業者支援活動のアピール等の観点から、経営支援活動における優れた事例について、職員間で共有することで職員の経営支援能力の強化を図り、地域経済の活性化に資することを目的に、経営支援事例発表福島県大会を開催しました。本年は、新型コロナウイルス感染症防止対策の環として、初めて大会模様をWEB配信したことで、多くの職員に視聴できる機会が創られました。今後は、これら情報通信を活かしながら、経営支援体制の充実と強化に繋げてまいりたいと思っております。

経営支援事例発表者

伊達市商工会 石井淳子 経営指導員

「来店機会促進」取組み展開で販路拡大

西郷村商工会 富永駿佑 経営指導員

「熱意」を見つけて背中を押す

「モチベーション」を上げて背中を押す

最優秀賞

あいつ商工会 鈴木洋和 経営指導員

「地元でも無名の金中林産」ブランド化への挑戦

内郷商工会 木幡香 経営指導員

「TSUNAGAIのトクバネ」想いの継承



事例発表者(4名)



事例発表プレゼンの様子

復興の最前線で寄り添った経営支援を目指して

広野町商工会及び会員の状況について

広野町商工会は震災の影響によって会館が大規模半壊となり、平成二十三年四月～平成

東日本大震災及び原発事故により、住民や会員事業所は避難を余儀なくされましたが、平成二十三年九月の早期には緊急時避難準備区域が解除され、復興の最前線としてライフラインの復旧整備等が進んだことで少しずつ住民帰還が進み、現在では約九割が帰還しております。



令和元年 10月 広野町商工会館落成式

会員事業所については、約九十七%が事業再開しており、震災当時一五九社でしたが、震災後、営業損害賠償請求作成支援を始め、各種補助金や制度資金

会員事業所については、約九十七%が事業再開しており、震災当時一五九社でしたが、震災後、営業損害賠償請求作成支援を始め、各種補助金や制度資金

会員事業所については、約九十七%が事業再開しており、震災当時一五九社でしたが、震災後、営業損害賠償請求作成支援を始め、各種補助金や制度資金



広野町暮市 2018



プレミアム付ひろの商品券販売会



地域概要について

広野町商工会長の黒田政徳です。広野町

二十四年九月末までいわき市平に事務所を借りて会員の事業再開支援に携わってきましたが、平成二十四年十月より広野町の協力のもと町内に建設された仮設事務所に移転、令和元年十月には広野駅東側地区に新商工会館が完成し、ようやく事務局体制の環境が整備されました。

等を活用して事業再開を目指す会員のみなならず、商工会の支援を必要とする非会員や新たに町内で創業した事業者などが続々と加入し、現在では七七社まで増えております。

地域振興事業について

平成二十四年度から「会員事業所マップ」を毎年発行し、平成二十六年度には、町内の買い物に困難な住民を対象とした「宅配サービスみかんちゃん」がスタートとなり、平成二十八年度には広野町からの委託事業として「プレミアム付ひろの商品券事業」が開始され、住民等が地元企業を利用することで消費喚起を促進でき、町全体としての活性化が図られております。また、平成二十九年度からは震災後初となる「広野町暮市」を復活し、地域活性化と賑わいづくりにも大きく貢献しております。

の強化と地域発展に尽力してまいります。

“経営基盤の強化”すべては会員のために



地域の概要

中島村商工会長の矢内宏です。

中島村は中通り南部白河市の東方十六kmに位置し、標高二七五m～三〇六mと平坦な土地の東側には寄り添うように阿武隈川が流れ、自然の恵みを受けながらトマトやブロッコリーの栽培はじめ、シクラメンや緑花木生産なども盛んな村です。その苗木生産の技術は、現在公害に強い緑化木へと受け継がれ、「中島村の緑化木」として広く世に知られています。

中島村商工会は昭和三十九年十一月十六日に設立し、今年で五十六年目になります。地域を取り巻く環境は、消費税増税や新型コロナウイルスの感染拡大の影響による間接被害や営業自粛、景気低迷が加速する等より一層厳しい局面におかれています。従前からの人手不足、後継者不足等の問題もあり、その解決に向け新たな支援が急務となっております。

重点事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、大きな影響を受けた事業者に対する国の各種給付金の申請手続き支援や、新型コロナウイルス感染症特別貸付等、事業継続のための様々な支援をします。また、経営力向上や事業承継支援、高度・専門的な経営課題に対する支援を通じて、事業者の持続的発展のため経営基盤の強化を図り、合わせて当商工会の支援能力の向上も強化してまいります。コロナ禍によって五里霧中ではありますが、役職員一丸となって「すべては会員のために」をスローガンに行政や関係諸団体と連携しながら、会員事業所と地域のために寄与しているところです。

プレミアム付き商品券事業

商工会振興事業として今年で第七回目となる、「童里夢（どりーむ）プレミアム商品券」の発行事業は、消費者に購買意欲を喚起拡大させ、近隣町

村への消費者流出防止が図られるなど村内事業所の売上向上、さらには地域内通貨流通などにより地域経済活性化に繋がるなどの効果を上げており、村民及び商工会員等にとって必要不可欠な事業となっております。

た、村内代畑地区に「汗かき地蔵」といわれる地蔵菩薩像が安置されています。高さは約二mの堂々とした石造で、昔から何か異変が起こりそうになると汗をかいて人々に知らせると言い伝えられています。地元でもパワースポットとして人気の場所となっております。今年も汗をかかないことを願うばかりです。

地域の観光情報

村のほぼ中心部に花と緑に囲まれた「童里夢（どりーむ）公園なかじま」、その園内に、からくり時計がありま



カラクリ・ヨカツベ時計



汗かき地蔵



がんばる地元の 飲食店応援券

チケット
販売上限額
拡大!!

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、厳しい状況でも「頑張る飲食店」を、さらに応援するためにチケットの販売上限額を拡大しました。商工会は、がんばる飲食店を応援します！

プレミアム付き前払利用券について

名称	がんばる地元(おらほ)の飲食店応援(エール)券
発行者	福島県
販売額	1,000円/枚(1枚単位で購入可)
プレミアム率	個人事業主が営む店舗:20%(200円) 法人事業者が営む店舗:10%(100円)
販売方法	前払利用券取扱店での店頭販売
販売上限	個人事業主:1,800枚×経営している店舗数 法人事業者:3,600枚×経営している店舗数
プレミアム分補助上限	36万円×経営している店舗数 ※個人事業主・法人事業者とも
利用期限	令和3年1月末日
使用対象	前払利用券を販売した店舗で支払う飲食代金等 ※テイクアウトやデリバリーの代金も対象です。



取扱店申込方法

商工会地区の事業所の方は最寄りの各商工会まで必要書類を添えて持参もしくは郵送でお申しください。

取扱店申込期限:令和2年12月28日(月)まで延長!

詳しいお問合せは、最寄りの各商工会または福島県商工会連合会まで。

INPIT 福島県知財総合支援窓口

知財のことならご相談ください
(相談・支援は無料です)

特許

TEL 024-963-0242

商標

意匠

一般社団法人福島県発明協会

著作権

